

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3185183号
(U3185183)

(45) 発行日 平成25年8月1日 (2013.8.1)

(24) 登録日 平成25年7月10日 (2013.7.10)

(51) Int.Cl.

F 1

B 6 5 D 25/20 (2006.01)

B 6 5 D 25/20

N

B 6 5 D 21/02 (2006.01)

B 6 5 D 21/02

Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 実願2013-2922 (U2013-2922)
 (22) 出願日 平成25年5月24日 (2013.5.24)
 (31) 優先権主張番号 101216350
 (32) 優先日 平成24年8月24日 (2012.8.24)
 (33) 優先権主張国 台湾 (TW)

(73) 実用新案権者 513131626
 ライ 世維
 台湾桃園縣龜山鄉精忠村光峰路龍田2巷3
 〇號
 (74) 代理人 100104215
 弁理士 大森 純一
 (74) 代理人 100117330
 弁理士 折居 章
 (74) 代理人 100123733
 弁理士 山田 大樹
 (74) 代理人 100168181
 弁理士 中村 哲平
 (74) 代理人 100168745
 弁理士 金子 彩子

最終頁に続く

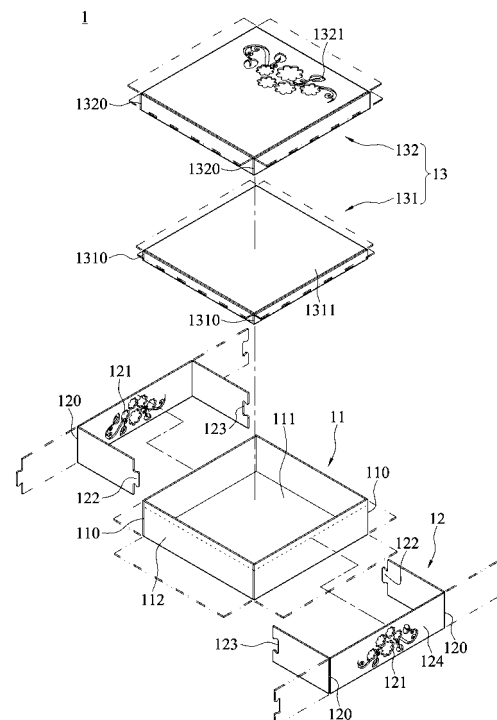
(54) 【考案の名称】 立体図案を備える容器

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 底部ケーシングと、少なくとも一つの側面貼り付けシートと、一つの上部ケーシングとを含む立体図案を備える容器を提供する。

【解決手段】 底部ケーシング11に複数の折り目が設けられ、折り目は少なくとも2つの平面間に取り付け、かつ底部ケーシングは凹部111を有する。側面貼り付けシート12は底部ケーシングの側壁に設けられ、かつ側面貼り付けシートには少なくとも一つの穴121が設けられ、側面貼り付けシートには折り目に対応して複数の側面折り目120が設けられる。上部ケーシング13は底部ケーシングの上方に設けられ、収容空間を形成し、上部ケーシングはライニング層131と表面層132とを含む。ライニング層には複数本のライニング折り目が設けられ、表面層はライニング層の外部に貼り付けられ、かつ表面層の表面には少なくとも一つの表面の穴が設けられ、ライニング折り目に対応した複数本の上部ケーシングの折り目が設けられる。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

立体図案を備える容器であって、

複数本の折り目が設けられ、前記折り目は少なくとも 2 つの平面間に設けられ、かつ第 1 凹部を有し、前記凹部の内面または外面に第 1 カラー貼り付け面が設けられた第 1 底部ケーシングと、

前記第 1 底部ケーシングの側壁に貼り付けられ、かつ文字または図案を表示するための少なくとも一つの第 1 穴が設けられ、前記折り目に対応して、複数本の側面折り目が設けられ、一端に接続部が設けられ、他端に前記接続部に対応した組合せ部が設けられた少なくとも一つの第 1 側面貼り付けシートと、

10

複数本のライニング折り目が設けられたライニング層と、

前記ライニング層の外部に設けられ、文字または図案を表示するための少なくとも一つの表面の第 1 穴と、前記ライニング折り目に対応して複数本の上部ケーシングの折り目とを有する表面層を有し、前記底部ケーシングの上方に被せられて、収容空間を形成する上部ケーシングと、を備える。

【請求項 2】

前記側面貼り付けシートまたは前記ライニング層の表面に第 2 カラー貼り付け面が設けられることを特徴とする、請求項 1 記載の立体図案を備える容器。

【請求項 3】

前記第 1 底部ケーシングの上端部は前記第 1 側面貼り付けシートの上端より高い位置にあり、前記第 1 側面貼り付けシートの下端は前記第 1 底部ケーシングの外部に突出する、請求項 1 記載の立体図案を備える容器。

20

【請求項 4】

重ね合わせボックスをさらに含み、前記重ね合わせボックスは、前記第 1 底部ケーシングの下方に設けられ、前記重ね合わせボックスには前記第 1 底部ケーシングと前記第 1 側面貼り付けシートの大きさに対応して、同じ大きさの開口部を有する第 2 凹部が設けられていることを特徴とする、請求項 3 記載の立体図案を備える容器。

【請求項 5】

前記重ね合わせボックスは、

前記第 2 凹部を有する第 2 底部ケーシングと、

30

前記第 2 底部ケーシングの側壁に貼り付けられ、かつ少なくとも一つの第 2 穴が設けられ、前記第 1 底部ケーシングの下方に重ね合わせられる少なくとも一つの第 2 側面貼り付けシートと、を有することを特徴とする、請求項 4 記載の立体図案を備える容器。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は容器に関し、特に立体図案を備える容器に関する。

【背景技術】**【0002】**

業者が容器を使用して商品を入れるとき、商品を入れた容器の外観には通常、ロゴ、商品を説明するための文字または図案と文字など、製品に関する説明が印字され、使用者が製品情報を確認できる。このようなやり方は、使用者に製品情報の提供ができるほか、使用者が外観設計によって、商品に対する商品の印象を深められ、製品のマーケティング目的を達成できるという点でも重要である。

40

【0003】

一般的に、製品容器に商品説明を付す方法は、主に以下のようなやり方がある。

【0004】

イ、顔料または塗料を容器に塗装する。

【0005】

ロ、同じ図案を有したステッカーまたは図案フィルムを貼り付ける。

50

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0006】

しかしながら、顔料または塗料のほとんどが化学材料のため、容器の外部だけに塗装したにもかかわらず、使用者の使用安全を確保できず、環境保護の面で多く心配されている。一方、容器に図案を備えるステッカーまたは接着剤は、容器の外部に貼り付けられているが、接着剤が気候、湿度または温度の変化により変質を引き起こすため、ステッカーが確実に容器の外部に貼り付けられることを確保することが難しい。このほか、顔料または塗料のスプレー、あるいはステッカーもしくは図案フィルムを貼り付けるやり方は、すべて新たに容器の外部に加工の必要があり、作業は極めて面倒である。

10

【0007】

よって、需要者の観点から、立体図案を備える容器を設計して、環境保護の効果を有し、かつ環境温度または湿度の変化による顔料、塗料、ステッカーまたは図案フィルムの塗料剥がれやステッカーの剥離を防止でき、かつ加工時間を短縮できる立体図案を備える容器を提供することは、もはや市場において、一刻も猶予を許されない課題となっている。

【0008】

前述した公知技術の問題について、立体図案を備える容器を提供して、公知技術の問題解決を図ることが本考案の目的である。

【課題を解決するための手段】

【0009】

本考案の目的に基づき、第1底部ケーシングと、第1側面貼り付けシートと、上部ケーシングと、を含む立体図案を備える容器を提供する。そのうち、第1底部ケーシングには複数の折り目が設けられ、折り目は少なくとも2つの平面間に取り付けられ、かつ第1底部ケーシングは第1凹部を有する。第1側面貼り付けシートは第1底部ケーシングの側壁に設けられ、かつ第1側面貼り付けシートには少なくとも一つの穴が設けられ、第1側面貼り付けシートには折り目に対応して複数の側面折り目が設けられている。上部ケーシングは第1底部ケーシングの上方に被せられて、収容空間を形成する。上部ケーシングはライニング層と、表面層とを含み、ライニング層には複数本のライニング折り目が設けられ、表面層はライニング層の外部に貼り付けられ、かつ表面層の表面には少なくとも一つの穴が設けられ、ライニング折り目に対応して複数本の上部ケーシングの折り目が設けられている。

20

30

【0010】

そのうち、第1底部ケーシングの内面または外面には例えば、第1カラー貼り付け面が設けられ、側面貼り付けシートまたはライニング層の表面には第2カラー貼り付け面が設ける。

【0011】

そのうち、側面貼り付けシートの穴は文字または図案である。

【0012】

そのうち、表面層の穴は文字または図案である。

【0013】

そのうち、第1側面貼り付けシートの一端には接続部が設けられ、他端には接続部に対応した組合せ部が設けられる。

40

【0014】

そのうち、第1側面貼り付けシートの上端は第1底部ケーシングの上端部より低い位置に設けられ、かつ第1側面貼り付けシートの下端は第1底部ケーシングの外部に突出して設けられる。

【0015】

好ましくは、立体図案を備える容器は重ね合わせボックスをさらに含み、重ね合わせボックスは第1底部ケーシングの下方に設けられる。

【0016】

50

そのうち、重ね合わせボックスには、第 1 底部ケーシングと第 1 側面貼り付けシートの大きさに対応して、同じ大きさの開口部を有する第 2 凹部が設けられる。

【0017】

そのうち、重ね合わせボックスは、第 2 凹部を有する第 2 底部ケーシングと、第 2 底部ケーシングの側壁に貼り付けられ、かつ少なくとも第 2 穴が設けられ、第 1 底部ケーシングの下方に重ね合わされる第 2 貼り付けシートと、を有する。

【0018】

前述とおり、本考案の立体図案を備える容器は公知の塗料を容器の外部に貼り付けるやり方に取り代わることができ、環境保護に適合しコスト軽減の効果を有するほか、公知技術による容器の外部への貼り付けに代わって、接着剤が気温または長期間保管により、その粘性を失われる問題を防止し、かつ長期間保管しても破損することがないほか、様々なカラー貼り付け面を形成することができる。

【考案の効果】

【0019】

以下に説明するとおり、本考案の立体図案を備える容器は以下に示す複数の長所を有することがわかる。

【0020】

イ、本本考案の立体図案を備える容器は公知技術による塗料を容器外部にスプレー塗装する方法に取り代わることができ、環境保護に適合し、かつコスト軽減の効果がある。

【0021】

ロ、本考案の立体図案を備える容器は公知技術によるステッカーを容器外部に貼り付ける方法に取り代わることができ、接着剤が気温または長期間保管により、その粘性が失われる問題を防止でき、本考案によれば、長期間保存しても破損することはない。

【0022】

ハ、本考案の立体図案を備える容器の底部ケーシングと側面貼り付けシートにはそれぞれ異なるカラーの貼り付け面が設けられているため、様々な視覚効果を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【0023】

【図 1】本考案の立体図案を備える容器の好ましい実施例による分解図である。

【図 2】本考案の立体図案を備える容器の好ましい実施例による態様図である。

【図 3】本考案の立体図案を備える容器もう一つの好ましい実施例による態様図である（その 1）。

【図 4】本考案の立体図案を備える容器もう一つの好ましい実施例による分解図である。

【図 5】本考案の立体図案を備える容器もう一つの好ましい実施例による態様図である（その 2）。

【考案を実施するための形態】

【0024】

以下は関連図面に基づいて、本考案の立体図案を備える容器の実施例を説明する。理解しやすくするため、以下の実施例において、同じ要素には同じ符号を割りあてる。

【実施例】

【0025】

図 1 と図 2、すなわち本考案の立体図案を備える容器の好ましい実施例による分解図と態様図とを合わせて参照する。本考案の立体図案を備える容器 1 は底部ケーシング 11 と、側面貼り付けシート 12 と、上部ケーシング 13 とを有する。底部ケーシング 11 は凹部 111 を有し、側面貼り付けシート 12 は底部ケーシング 11 の側壁に貼り付けられ、かつ側面貼り付けシート 12 には少なくとも一つの穴 121 が設けられ、上部ケーシング 13 が底部ケーシング 11 の上方に被せられて、収容空間を形成する。そのうち、上部ケーシング 13 はライニング層 131 と表面層 132 とを含み、表面層 132 は例えば、ライニング層 131 の外部に貼り付けられ、かつ表面層 132 の表面には少なくとも一つの

表面穴 1 3 2 1 が設けられる。

【0026】

図 1 に示すとおり、底部ケーシング 1 1 には複数本の折り目 1 1 0 が設けられ、折り目 1 1 0 は少なくとも 2 つの平面間に設けられ、側面貼り付けシート 1 2 には折り目 1 1 0 に対応して、複数本の側面折り目 1 2 0 が設けられている。上部ケーシング 1 3 のライニング層 1 3 1 には複数本のライニング折り目 1 3 1 0 が設けられ、上部ケーシング 1 3 の表面層 1 3 2 にはライニング折り目 1 3 1 0 に対応して複数本の上部ケーシングの折り目 1 3 2 0 が設けられている。前述複数種の折り目によって、底部ケーシング 1 1 と、側面貼り付けシート 1 2 と、上部ケーシング 1 3 とを多角柱のケーシング体に仕上げる事ができる。図 1 と図 2 には矩形ケーシングが例示されているが、本考案を実施する場合には、実際の需要に応じて、五角柱のケーシング体、六角柱のケーシング体、七角柱のケーシング体、八角柱のケーシング体または九角柱のケーシング体など多角柱のケーシング体を設けることができる。ただし、この限りでない。

10

【0027】

このほか、側面貼り付けシート 1 2 の穴 1 2 1 と表面層 1 3 2 に備えられた表面の穴 1 3 2 1 はそれぞれ立体図案として設けることができる。図 2 に示すように、側面貼り付けシート 1 2 の穴 1 2 1 は花模様の図案として形成されているのに対して、表面層 1 3 2 に備えられた表面の穴 1 3 2 1 は花模様の図案として形成されても良い。よって、様々なパターンの図案を穴 1 2 1 または表面の穴 1 3 2 1 に設けることにより、商標表示として、使用者に認識させることができる。

20

【0028】

特に注意したい点は、図 1 と図 2 において、立体図案を備える容器 1 には 2 つの第 1 側面貼り付けシート 1 2 が設けられ、2 つの第 1 側面貼り付けシート 1 2 の一端には接続部 1 2 2 が設けられ、他端には接続部 1 2 2 に対応して、組合せ部 1 2 3 が設けられている点である。これにより、そのうち一つの第 1 側面貼り付けシート 1 2 が接続部 1 2 2 を介して、もう一つの第 1 側面貼り付けシート 1 2 の接続部 1 2 3 につなぎ合わせることで、底部ケーシング 1 1 の側壁に繞設することができる。

【0029】

なお、第 1 底部ケーシング 1 1 の内面または外面には第 1 カラー貼り付け面 1 1 2 が設けられるのに対して、第 1 側面貼り付けシート 1 2 の表面には第 2 カラー貼り付け面 1 2 4 が設けられるか、またはライニング層 1 3 1 の表面にも第 2 カラー貼り付け面 1 3 1 1 を設けられるのに対して、第 1 カラー貼り付け面 1 1 2 と第 2 カラー貼り付け面 1 2 4、1 3 1 1 がそれぞれ異なるカラーの貼り付け面として設けられるか、または同じカラーのカラー貼り付け面として設けられる。

30

【0030】

続いて、図 3、すなわち本考案の立体図案を備える容器のもう一つの好ましい実施例による態様図を参照する。同図に示すとおり、本実施例において、立体図案を備える容器 2 には側面貼り付けシート 2 1 が設けられ、側面貼り付けシート 2 1 の一端には接続部 2 1 1 が設けられ、他端には組合せ部 2 1 2 が設けられる。接続部 2 1 1 を組合せ部 2 1 2 に接続することによって、側面貼り付けシート 2 1 を内部ケーシングの側壁に繞設することができる。

40

【0031】

特に注意したい点は、上部ケーシング 2 2 表面の穴 2 2 1 は図案として設計されている点であり、本実施例においては、花模様の図案が表面の穴 2 2 1 として例示されている。側面貼り付けシート 2 1 には、2 つの穴 2 1 3 が設けられている。そのうち一つの穴 2 1 3 は文字パターンの穴 2 1 3 であり、もう一つの穴 2 1 3 は図案パターンの穴である。図示の側面貼り付けシート 2 1 の一側には例えば、「C E F」のように文字図案の穴 2 1 3 が設けられ、もう一側の穴 2 1 3 には例えば、花模様の図案が設けられる。これにより、立体図案を備える容器 2 は視認機能を有し、かつ公知技術において容器の外部に印刷図案または図案を有するステッカーなどを貼り付ける方法に取り代わることができるほか、よ

50

り環境保護に適合し、かつコストを軽減できる。

【0032】

図4と図5、すなわち本考案の立体図案を備える容器の好ましい実施例による分解図と状態図とを合わせて参照する。両図に示すとおり、本考案の立体図案を備える容器3は第1底部ケーシング31と、第1側面貼り付けシート32と、上部ケーシング33と、重ね合わせボックス34とを有する。図に示すとおり、第1底部ケーシング31は第1凹部311を有し、第1側面貼り付けシート32は例えば、第1底部ケーシング31の側壁に設けられ、上部ケーシング33は第1底部ケーシング31の上方に被せられて、収容空間を形成する。特に注意したい点は、第1底部ケーシング31の上端部は第1側面貼り付けシート32の上端より高い位置に設けられていて、かつ第1側面貼り付けシート32の下端は第1底部ケーシング31底部の外面に突出して設けられている点である。重ね合わせボックス34には、第1底部ケーシング31と第1側面貼り付けシート32の大きさに対応して、同じ大きさを有する第2凹部3411が設けられる。

【0033】

重ね合わせボックス34の構造を詳しく説明する。図4に示すとおり、重ね合わせボックス34は第2底部ケーシング341と、少なくとも一つの第2側面貼り付けシート342とを含み、第2底部ケーシング341は第2凹部3411を有する。典型的には、第2凹部3411は第1底部ケーシング31の第1凹部311と同じ大きさに形成されるが、この限りでない。第2側面貼り付けシート342は第2底部ケーシング341の側壁に貼り付けられ、第2側面貼り付けシート342には少なくとも一つの第2穴3421が設けられている。さらに、第1底部ケーシング31の下端部は第2側面貼り付けシート342の上端に設けられ、第2側面貼り付けシート342の下端は第2底部ケーシング341の外部に突出するように貼り付けられることによって、第1底部ケーシング31の下方に重ね合わせることができる。本実施例において、2つの第2側面貼り付けシート342が設けられる例が示されているが、その数はこの限りでない。

【0034】

続いて、図5に示すとおり、上部ケーシング33と第1側面貼り付けシート32にはいずれも花模様の図案が設けられているが、重ね合わせボックス34の第2側面貼り付けシート342の第2穴3421は、上部ケーシング33表面の第1穴3321および第1側面貼り付けシート32の第1穴321と異なり、図示のように「C E F」という文字の穴として設けられている。ただし、第2穴3421の態様はこの限りでない。よって、表面の穴3321と、穴321と、第2穴3421とを設けることによって、複数種の図案の立体図案を設けることができる。

【0035】

なお、本考案の立体図案を備える容器3には複数の重ね合わせボックス34が設けられてもよい。本考案の技術特徴の詳しい説明を図るため、図において、一つの重ね合わせボックス34のみが例示されているが、この限りでない。

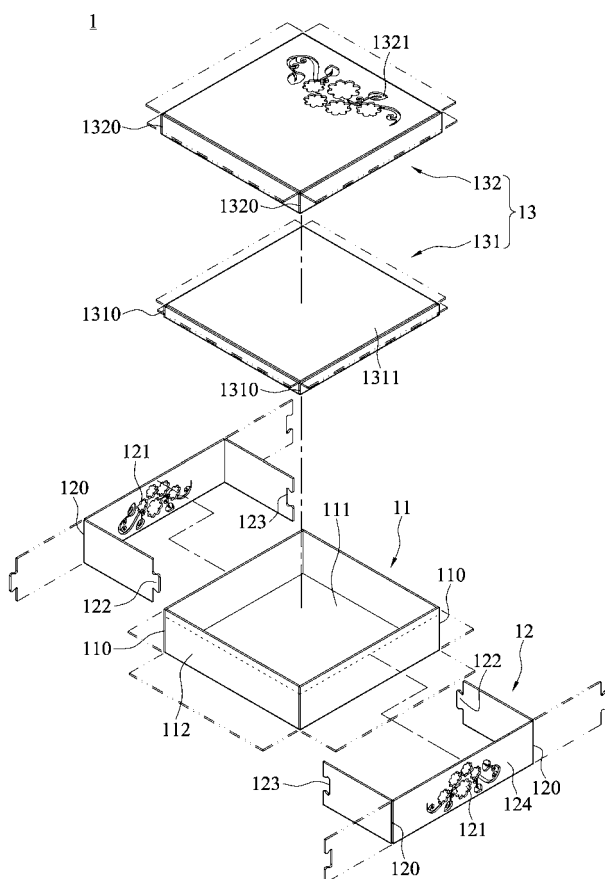
【符号の説明】

【0036】

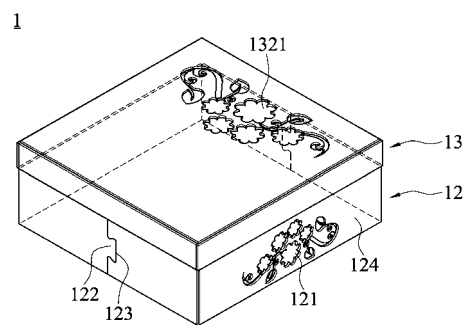
- | | | |
|------------------|---------------|----|
| 1、2、3 | 立体図案を備える容器 | 40 |
| 11、31 | (第1)底部ケーシング | |
| 110、310 | 折り目 | |
| 111、311 | (第1)凹部 | |
| 112、312 | 第1カラー貼り付け面 | |
| 12、21、32 | (第1)側面貼り付けシート | |
| 120、320 | 側面折り目 | |
| 121、213、321 | (第1)穴 | |
| 122、211、322、3422 | 接続部 | |
| 123、212、323、3423 | 組合せ部 | |
| 124、1311、324 | 第2カラー貼り付け面 | 50 |

- 1 3、2 2、3 3 上部ケーシング
- 1 3 1、3 3 1 ライニング層
- 1 3 1 0、3 2 1 0 ライニング折り目
- 1 3 2、3 3 2 表面層
- 1 3 2 0、3 3 2 0 上部ケーシングの折り目
- 1 3 2 1、2 2 1、3 3 2 1 表面の穴
- 3 4 重ね合わせボックス
- 3 4 1 第2底部ケーシング
- 3 4 1 1 第2凹部
- 3 4 2 第2側面貼り付けシート
- 3 4 2 1 第2穴

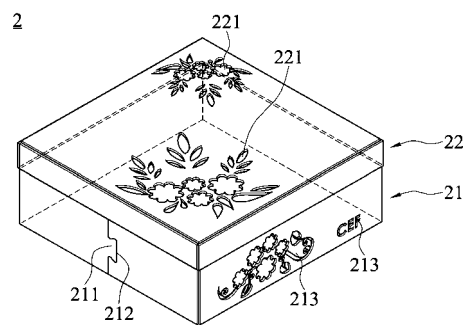
【図 1】



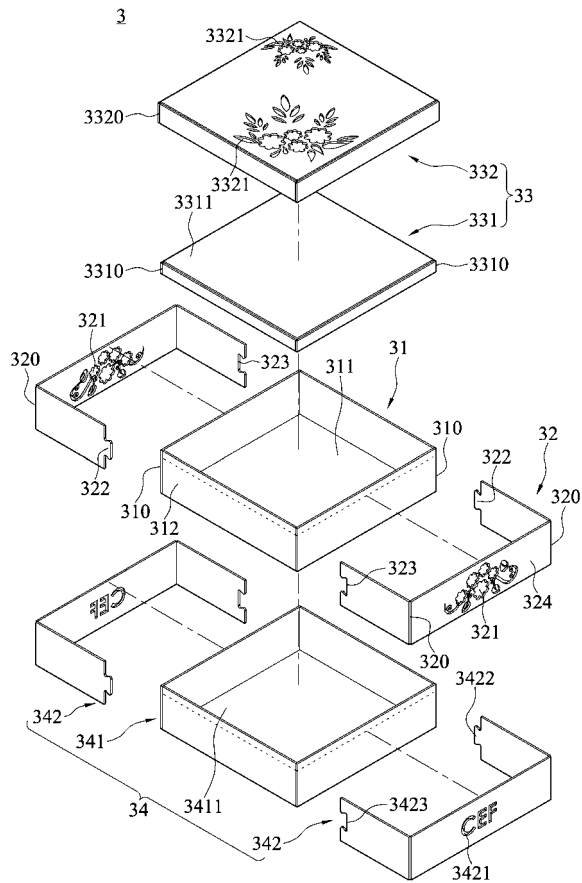
【図 2】



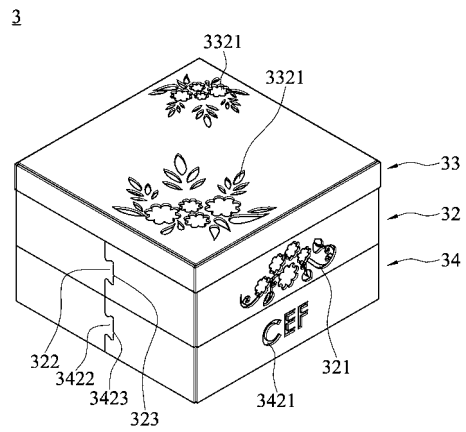
【図 3】



【図 4】



【図 5】



フロントページの続き

(74)代理人 100170346

弁理士 吉田 望

(74)代理人 100176131

弁理士 金山 慎太郎

(72)考案者 ライ 世維

台湾桃園縣龜山鄉精忠村光峰路龍田2巷30號